

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「題材を貫く問い」を立てて、題材計画を構想する準備をしてみましょう。

小学校・第6学年

家庭科

題材名 元気！おいしい！ごはんをプロデュース！

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

「よりよい生活」の実現のために何ができるだろう。

② 題材を貫く問い （題材を通して考え深めていく「問い」）

健康・快適・安全な食生活を送るために、自分はどうすればいいだろうか。

③ 個別の問い （題材を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ ○○小学校のオリジナルメニュー「○○っ子給食」はどんな献立であるべきだろう。
- ・ 献立をたてる上でどんなことに気を付ける必要があるだろう。
- ・ 炒め物をおいしく作るためにはどんなコツがあるだろう。
- ・ 友達の作った案にはどんなよさがあるだろう。

題材計画の
構想を立てる

- 1 題材を貫く問いを知り、「○○っ子給食」が満たすべき条件を考える。
- 2 各自で「○○っ子給食」の案を作成、交流し、その中で生じた疑問を共有する。
- 3 調理の基礎、栄養を考えた食事について学習する（家庭や栄養教諭への聞き取り、調べ学習、調理実験を含む）。
- 4 学習した内容を基に、各自の「○○っ子給食」案を見直す。
- 5 一人調理を実施し、その様子を撮影・観察しあう。気付きを交流し、改善案を検討する。
- 6 「○○っ子給食」の案をプレゼンテーションする。
- 7 活動を評価するとともに、家庭での実践に向け、課題を再設定する。